

就学援助（準要保護）制度のお知らせ

就学援助（準要保護）制度とは、経済的理由等でお困りの家庭に、学用品費や給食費等を援助する制度です。

援助の対象となる人

- ・要保護（生活保護法による扶助受給者）に準ずる程度に困窮している人
- ・長い病気や突発的な事故等で収入が不安定な人
- ・その他の事情でお困りの人（学校又は学校教育課にご相談ください）

申請方法

申請書（お子さん1人につき1枚）に必要書類を添付して、学校に提出してください。申請書は、各学校及び学校教育課又は市ホームページで配布しています。

令和7年度 就学援助費の内容…令和8年度の援助費は変更となる場合があります

援助費目	年額／限度額	援助費	
		小学校	中学校
新入学用品費	年額	57,060円	63,000円
学用品費	年額	11,630円	22,730円
通学用品費	年額	2,270円	2,270円
修学旅行費	限度額	22,690円	60,910円
給食費	年額	50,600円	62,700円
校外活動費	限度額	1,600円	2,310円
校外活動費（宿泊）	限度額	3,690円	6,210円
通学費（小学校）	片道2km以上の住所地の学区通学（公共交通機関実費相当額）		
医療費	むし歯、中耳炎等の学校保健安全法施行令第8条で定められた疾病にかかり、治療指示があった場合の医療費（保険診療の自己負担分）		

※ 年度途中から認定された場合は、支給される金額が年額より少なくなります。（月割認定となります。）

※ 給食費について富津市では、2025年4月から市内中学生を対象に無償化しています。

※ 各援助費目には、補助対象範囲が決められています。

※ 小学1年生の給食費の援助費は49,805円となります。



ふつつ教育からまちづくりへ

令和8年2月発行
第67号
発行 富津市教育委員会



小学校	8校
児童数	1360名
中学校	3校
生徒数	779名
(令和8年1月1日現在)	

問 学校教育課学務係 ☎0439-80-1339

育英資金制度のご案内

経済的な理由で修学が困難な方に対し、無利子で学資をお貸しする「育英資金制度」があります。この制度は、高校や大学等に進学又は在学中の方を対象としています。

対象	貸与額	貸与期間
高等学校	月額 20,000円以内	正規の就業期間の範囲内
高等専門学校	月額 30,000円以内	
大学、大学院又は専修学校の専門課程	月額 40,000円以内	

※卒業してから1年間は返還が猶予されます。猶予期間後、10年以内に貸与額を返還していただきます。

※必要書類は、富津市ホームページからダウンロードしてください。



問 教育総務課庶務係 ☎0439-80-1340

大佐和中学校の屋内運動場が完成しました

令和8年1月に新たな屋内運動場が完成しました。

旧屋内運動場は屋根のプレートに亀裂があったため令和5年から使用を中止し、令和6年12月から新屋内運動場の建設を進めてきました。

校舎から新屋内運動場へは新設した渡り廊下を通じて雨天時でも濡れずに移動できます。

また、建物内は入口の段差解消用スロープや多目的トイレが整備されバリアフリーに対応していることから誰でも利用しやすくなっています。アリーナにはバスケットボールやバレーボール等のコートラインが引かれ、さまざまなスポーツを行うことができます。吊り下げ式のバスケットゴールはリモコン操作で昇降することができます。

さらに、屋根に設置された太陽光パネルで発電した電気を蓄電池に蓄えることで、停電時には照明などに電気を使用することができます。



正面写真



アリーナ



太陽光パネル



多目的トイレ



渡り廊下

学校給食における地産地消の推進

～令和7年度千産千消デー献立の紹介～

学校給食では、地産地消の推進として、地元で採れる新鮮な農産物を取り入れた献立や、富津市産の工コ米（減農薬の米）を使用し、安全で安心な給食を提供しています。

地域の自然、食文化への関心と理解を深めるとともに、生産者の方々への感謝の気持ちと育った地域への愛着を育むため、今後も継続して地域の食材を活用していきます。

千産千消デー献立

【富津市学校給食共同調理場献立】

- ・ごはん
- ・牛乳
- ・ぶた肉のしょうが焼き
- ・もやしときゅうりのサラダ
- ・たまごとわかめのスープ

【給食で活用した地場産物】

- ・米
- ・牛乳
- ・豚肩ロース脂身なし
- ・きゅうり
- ・にんじん
- ・鶏卵



食物アレルギーの除去食対応を開始しました

富津市では、学校給食共同調理場にアレルギー食調理室が完備されたことにより、今まで行ってきた情報提供対応（アレルゲン27品目※が表示されている詳細な献立表の配付）に加え、除去食提供対応（給食の食材として使用されるアレルゲンを除いて調理した給食の提供）ができるようになりました。

除去食を開始するにあたり、除去食の試作や配膳、配送等のシミュレーションを経て、令和7年9月から「卵」・「乳」・「卵と乳」の除去食の提供を開始しました。除去食は、通常の給食とは別に、専用の保温容器に配食して、ランチボックスへ入れられ対象の学校へ届けられます。保冷剤やアルミパックを用いて、適温で提供できるよう工夫し、また、個別に献立カードを付け、確実に本人に届くよう安全に配慮しています。

食物アレルギー除去食は専用容器で届けられます



※食物アレルギーの特定原材料8品目及び特定原材料に準ずる19品目。令和6年3月28日付で推奨表示（特定原材料に準ずる品目）となったマカダミアナッツについては、包装等への表示に一定期間かかると考えられるため、情報提供品目から除外。

元旦からのウォーキングで一年を健康に！ ～第55回元旦歩こう大会開催～

令和8年1月1日（木・元日）、「第55回元旦歩こう大会」が開催されました。

富津市スポーツ推進委員連絡協議会が主管となり、市内3地区に分かれて行われた本大会は、富津地区114名、大佐和地区133名、天羽地区59名の合計306名が参加し、富津地区は八坂神社、大佐和地区は鶴峯八幡神社、天羽地区はハ雲神社にて参拝を行いました。

各地区約4km～5kmを歩き、ゴール後には参加者全員に完歩証が配されました。

「一年の計は元旦にあり」。参加者は、富津市の自然、景色に接しながらウォーキングを楽しみ、輝かしい1年のスタートを切りました。

富津市では、皆さんの運動するきっかけをつくり、健康・体力増進の取り組みのため、今後も多くのウォーキングイベントを開催していきます。



4月に富津市デジタルミュージアムがオープンします

富津市デジタルミュージアムとはインターネットで閲覧できる博物館です。スマートフォンやパソコンなどの端末を入り口として、いつでも・どこでも・だれでも・気軽にインターネット上にある博物館に訪れて展示をみることができます。

博物館には複数の部屋があり、コンテンツは今後順次拡充していきます。4月時点では「富津ふるさとかるた」「古写真」等がオープン予定です。ここでは「古写真」の部屋で見ることのできる新富埋立時の航空写真を一部紹介します。

東京湾東岸は江戸時代以来、江戸や対岸と海路で繋がる港町であり、遠浅で肥沃な立地を生かして近海漁業やノリ・貝の養殖で潤う漁村でした。

東京湾西岸では、戦前より沿岸部を埋立てて工場を建設していくことで、徐々に漁村・農村社会から工業社会への転化が進んでいましたが、戦後、東京湾東岸では、それが急速に進行するのが特徴です。これは高度経済成長に伴って重・化学工業の需要が高まったのが要因で、九州や関西から労働者が流入し、宅地の開発も活発になりました。



昭和44年

君津市側の沿岸（現在の日本製鉄君津製作所の一部）はすでに埋立が進んでいるが、富津市の沿岸では全体にノリ養殖のヒビが畳のように広がって



昭和55年

右奥に埋立地外周が形成される。そのすぐ隣の富津岬沿岸では依然として、ヒビが立てられノリ養殖が続けられている。



昭和56年

右手前に見切れているのが富津漁港の防波堤。左手前に象の鼻状の埋立部分がみえるが、今はない。現在の富津港公園部分を埋立てるとときに使われた仮設埠頭か。



平成12年

埋立地の形は現在と変わらない。総合社会体育館や市民ふれあい公園などの公共施設や大型商業施設（現、イオンモール富津）がみられるが、工場や大堀の新しい住宅街には空き地が目立つ。